

Q

インビザライン矯正は、歯並びが少しだけ凹凸している場合や、少しだけ歯に隙間がある場合の簡単な矯正治療しかできないと聞きました。歯並びがかなり悪い場合は、インビザライン矯正は難しいのでしょうか。

A

インビザライン矯正の進化が進み
従来の矯正治療と同等の治療が可能

数年前までは簡単な矯正治療しかできませんでしたが、現在は従来の矯正治療と同等の治療が可能になってきました。また、一部では従来の矯正治療より良い結果が得られています。

その原動力になっているのが世界中から集まった400万件以上の治療データにAIを活用した分析と、年間約100億円もの研究開発費が投資されていることです。その結果、コンピュータシステム、使用材料、歯の動きを良くするために付けられる突起の形状、歯の動かし方などが改良され続けて劇的に進化しています。進化の一例としては、2016年春までは前歯がかみ合っていない症例は、インビザライン矯正治療が適してないと考えられていました。ところが、同年夏には治療が可能となり、17年春には従来の矯正治療より良い結果が得られると報告されています。

このように、従来の矯正治療では考えられない速さで進化し続けているので、これからも期待できる治療方法です。また、マウスピース矯正の特徴である治療中の食事制限がないことや、治療中の口の衛生管理が容易なので虫歯や歯周病になりにくい点を考えると、総合的に優れた矯正治療と考えられます。

回答医師 飛田 晴康 先生



飛田歯科医院 院長
1985年大阪歯科大学卒業。東京都港区、京都府南丹市、神戸市東灘区の歯科医院勤務を経て、2005年より現職。



■ 岡山市北区広瀬町11-19
■ TEL.086-222-3194

U R L <http://www.tobitadc.jp/>